

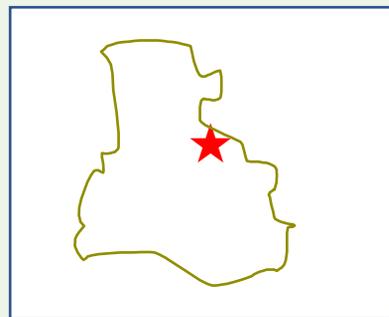
# 丹波市有機の里づくり推進協議会（兵庫県丹波市）

構成員：丹波市有機農業研究会、丹波市、丹波ひかみ農協

## 背景・課題

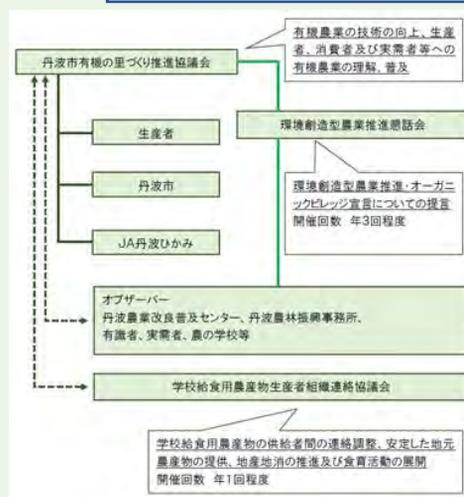
丹波市では、「有機の里づくり」の一環で、各々の生産者の活動により、有機農産物の生産や有機農業実施面積が増えているものの、中山間地域特有の農業の担い手不足の課題に直面している。

このため、有機農業の取組を広め、丹波市の農産物の優位性や価値を高めることにより、持続可能な農業生産を目指す。



## みどり戦略実現に向けて

「丹波市有機の里づくり推進協議会」が中心となった新たな農業技術の取得など産地全体での生産技術の向上に向けた取組や、有機農業を体系的に学ぶことができる「丹波市立農（みのり）の学校」による新たな担い手の確保など、生産者、JA、市が連携を図り、有機農産物の新たな需要の取り込みや生産者の育成を推進。



## 成果目標

- 有機農業面積 (R3→R6) : 163 ha → 171 ha (+5%)
- 有機農産物の販売数量 (R3→R6) : 530t → 555t (+5%)
- 有機農業者数 (R3→R6) : 91戸 → 96戸 (+5%)

## 取組のポイント

- ① 調達：『有機の里』の構築に向けた良質堆肥の地域内循環を目指して、家畜由来堆肥の品質向上・安定供給に向けた技術講習及び堆肥を用いた土づくり技術の普及を実施。
- ② 生産：地域で活動実績のない新たな栽培技術や省力化技術（例：アイガモロボット）の導入に向けたデータ収集・分析、有機農業への就農・転換を行おうとする者に向けた技術講習会や手引き作成に向けた調査・分析を実施（地域の熟練有機農業者の技術伝承等）。
- ③ 加工・流通：有機農産物の販路拡大へ向けて、展示会への出展、集出荷業者等の出荷規格や取扱品目についての市場調査を実施。
- ④ 消費：有機農産物を直接消費者に販売するため、直売所における有機農産物コーナーを設置。集荷方法・納品規格等に関する関係者との調整を行い、学校給食における有機農産物の活用を検討。

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					①	②	③	④				

① 調達

市営の市島有機センターにおいて牛ふん堆肥を製造

② 生産

先進農家等を招へいた有機農業研修会の開催

③ 加工・流通

丹波市産有機米等の展示会への出展

④ 消費

直売所における有機農産物等の販売ブースの設置